



令和7年12月12日 定例記者会見資料【美術・文学館課】

栃木市立美術館企画展 「鈴木賢二と徹」の開催について

1. 目的

本展は、彫刻と木版画という、彫り刻む営みの中から人間愛に満ちた作品を作り続けた、本市ゆかりの彫刻家であり版画家の鈴木賢二と、賢二の長男で彫刻家の徹の作品、約80点を展示し、その芸術を生んだ栃木の地と時代について考察する。

2. 会期

令和8年1月10日（土）～3月22日（日）

3. 所在地

栃木市入舟町7-26

4. 開館時間

9時30分～17時（入館16時30分まで）

5. 休館日

月曜日（祝日の場合は開館）祝日の翌日（土・日・祝日の場合は開館）1月13日（火）、
2月12日（木）、2月24日（火）

6. 展示場所

栃木市立美術館 展示室A、B

7. 展示点数（予定）

約80点

8. 観覧料

一般・大高校生 800円（640円）、中学生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金

*企画展観覧料で収蔵品展Ⅱ観覧無料

*身体障害者手帳等の交付を受けている方とその介助者1名は無料

*「家庭の日」の第3日曜日（1月18日、2月15日、3月15日）は中学生以下の子どもとの同伴者2名まで観覧無料

9. 関連イベント

（1）学芸員によるギャラリートーク

日 時：1月10日（土）14時～1時間程度

対象：どなたでも

集合場所：展示室A 当日の企画展観覧券が必要です

（2）学芸員によるキッズギャラリートーク

日 時：1月18日（日）14時～14時30分

対象 小学生

集合場所：美術館ロビー

(3) 絵を見て話そ！学芸員と一緒にトーク
日 時：2月15日（日）11時～11時30分
対 象：小学生
集合場所：美術館ロビー

(4) 「思い出すままに：賢二と徹の暮らし」
鈴木賢二と徹のご遺族より、芸術家一家の暮らしについて伺います。
語り手：鈴木解子 氏（鈴木賢二四女、鈴木賢二作品室 如輪房）、根本夏代 氏（鈴木徹長女）
聞き手：杉村浩哉（当館館長、本展担当学芸員）
日 時：1月24日（土）14時00分～15時00分
会 場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習室（栃木市市民交流センター）大交流室
対 象：どなたでも（小学生以下は保護者の同伴必須）
定 員：100名（要事前申込、先着順）
申 込：1月10日（土）10時～ 電話受付

(5) 「オシラサマ伝説の世界を訪ねる」
ダンスを伴った朗読を聞いた後に学芸員と共に鈴木徹の《馬と娘の恋の物語》を見ます。
朗 読：根本夏代 氏（鈴木徹長女）
ダンス：安藤喜代 氏
展示案内：杉村浩哉（当館館長、本展担当学芸員）
日 時：2月1日（日）14時00分～（50分程度）
場 所：多目的室（つなてみち）
対 象：どなたでも（小学生は保護者の同伴必須）
定 員：30名（要事前申込、先着順）
参 加 費：無料（作品鑑賞を含むため、高校生以上は要当日の企画展観覧券）
申 込：1月10日（土）10時～ 電話受付

(6) 「朗読と音楽と映像による 賢二ヒストリア」
演 出：安藤喜代 氏
朗 読：茂呂久美子 氏、鈴木解子 氏、白神心音
音楽・箏演奏：稻葉美和 氏
日 時：2月23日（月・祝）14時00分～15時00分
会 場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）大交流室
対 象：どなたでも（小学生は保護者の同伴必須）
定 員：100名（要事前申込、先着順）
参 加 費：無料
申 込：1月31日（土）10時～ 電話受付

問合せ：教育委員会事務局 美術・文学館課
(栃木市立美術館)
担当：河野
電話：0282-25-5300